

教育博物館 特別展

# 植物に魅せられた学者たち

## 〜平瀬作五郎と牧野富太郎〜



世界に先がけイチョウの精子を発見した平瀬作五郎



1500種類以上の植物を命名した日本の植物分類学の父 牧野富太郎  
高知県立牧野植物園 提供



令和5年 6月10日 **土** ~ 10月1日 **日**

開館時間: 9:00~17:00 (入館は16:30まで)

休館日: 月曜日(祝日の場合はその翌日)・祝日の翌日・7/11・7/12

※8/12(土)・8/14(月)・9/24(土)は開館

入場  
無料



福井県教育総合研究所  
**教育博物館**

坂井市春江町江留上緑8-1(旧春江工業高校)  
TEL:0776-58-2250 / FAX:0776-58-2251  
E-Mail:ed-muse@pref.fukui.lg.jp





植物に魅せられた学者たち

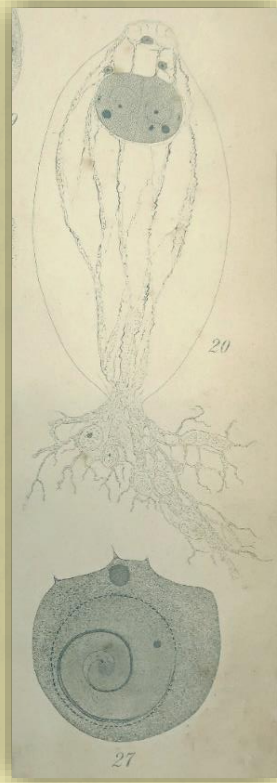
平瀬作五郎と牧野富太郎



滋賀県第一中学校で勤務中の平瀬 (1901-1904年頃)



平瀬が採集し、牧野が命名したオオトックリイチゴの標本 (写真) 高知県立牧野植物園蔵



平瀬が描いたイチョウの観察図 (上は花粉管と中央細胞 下は精細胞)

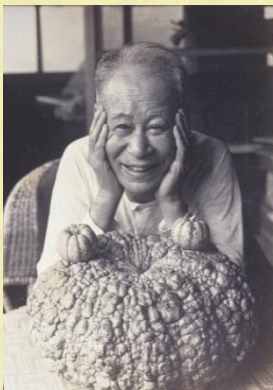
植物に向き合った学者の、足跡を追う。

幕末に福井藩士の子として生まれた平瀬作五郎は、絵の才能を買われて帝国大学理科大学（現在の東京大学理学部）に就職、教授の作成する論文の挿絵や講義の絵を描く画工として働きながらイチョウの研究を進め、1896(明治29)年、世界で初めてイチョウの精子を発見しました。

その功績により、平瀬は1912(明治45)年に帝国学士院から当時の国内学術最高の栄誉である恩賜賞を授与されました。

平瀬が大学で勤務していた植物学教室には、1500種以上の植物を命名した「日本の植物学の父」牧野富太郎も在籍し、同年に助手になっています。また、農科大学の助教授であった池野成一郎は、平瀬と研究を助けあうなど、大学での地位の差を超えて温かく接していました。

今回の特別展では、平瀬作五郎の偉業と生涯を中心に、牧野や池野など、平瀬を取り巻く学者たちの業績についても紹介します。



77歳の牧野 1939(昭和14)年 高知県立牧野植物園 提供



牧野が描いたヤマザクラ 『大日本植物志』 東京大学理学部図書館蔵



池野が精子を発見したソテツ(分株) (東京大学小石川植物園)

特別展関連イベント

①ギャラリートーク

当館職員による展示説明  
6月24日(土) 7月23日(日)  
8月12日(土) 14:00~

②演劇「いてふノ精蟲」DVD上映

毎月第3日曜日 10:00~・14:00~  
2020年 川越高校演劇部作品  
平瀬の研究と牧野や池野との友情を描いた高校演劇の傑作

③ナイトデー

8月12日(土)  
開館時間20:00まで延長

④平瀬作五郎クリアファイルプレゼント

先着200名



◆アクセス

- <JR> JR春江駅より徒歩約12分(1km)
- <えちぜん鉄道> 鷺塚針原駅より徒歩25分(2km)
- <京福バス> 福井駅「25エンゼルランド線」乗車「教育博物館前」下車 徒歩5分

◆駐車場 普通乗用車200台 大型バス用2台  
車いす専用駐車場あり